

石川県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画に対する パブリックコメントの結果について

1 募集期間

令和5年1月27日（金）～令和5年2月10日（金）

2 寄せられた意見

2件

	意見の概要	左記に対する考え方
1	<p>(1) 農業者への所得補償</p> <p>環境保全型農業に取り組んでいくためには、生産物の価格設定が最も大きな課題であるとともに、技術向上には長期間を必要とすることから、経営が安定するまでの間、直接的な支援が不可欠。</p> <p>また、環境保全型農業を志す人は小規模経営体が多いが、支援は大規模経営体を対象としたモノが多い。</p> <p>農業者の所得確保に向けた具体的な施策または検討計画をお示しいただきたい。</p>	<p>環境保全型農業に取り組む農業者の所得確保に向けては、技術実証を通じた低コスト化・省力化を図るとともに、農業者の労苦に見合う価格設定に不可欠な消費者の理解促進を図るため、環境保全型農業の意義や重要性等を丁寧に周知していきたいと考えています。</p> <p>また、環境保全型農業に取り組む農業者向けのワンストップ相談窓口を各農林総合事務所に設置し、環境保全型農業の取組を支援する国の交付金の活用についても、市町と連携して、きめ細かに支援することとしており、経営規模に関わらず意欲のある農業者の取組をしっかりと後押ししてまいります。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
	<p>(2) 農地斡旋の充実</p> <p>環境保全型農業希望者から「なかなか農地を見つけられない」「斡旋していただけなかった」という声をこれまで複数件伺っているが、今後、志す方がスムーズに環境保全型農業を始められるように、農地斡旋について充実をお願いしたい。</p>	<p>新規就農者など営農に必要な農地を希望する方には、これまでも市町、農業委員会、いしかわ農業総合支援機構で、農地の斡旋等の対応を行ってきたところです。</p> <p>県では、環境保全型農業に取り組む農業者向けのワンストップ相談窓口を各農林総合事務所に設置することとしており、農地の斡旋についても、引き続き、市町、いしかわ農業総合支援機構等と連携し、きめ細かな対応に努めてまいります。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>(3) 指導者または指導機関の育成ビジョン 環境保全型農業を希望する方がすぐに取り組めるように技術面のサポートは喫緊の課題であり、「栽培技術の習得等」に関して、その指導を担う人及び機関に対する育成について、具体案や検討案等をお示しいただきたい。</p>	<p>県では、JAと連携してエコ農業や特別栽培の取組を推進しており、主に水稻の栽培技術等において、一定の知見を有しています。</p> <p>また、農薬等の使用低減が難しい園芸品目についても、栽培指針の作成に向けた実証に取り組むとともに、県内外の優良事例を収集するなど、栽培技術に関する知見やノウハウの蓄積を図ることとしており、農業者を技術面でサポートできる体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
	<p>(4) 2050 年度までの国の目標達成を鑑みた県としてのロードマップ 環境保全型農業実施面積目標について、2025 年の 13,600ha から 2050 年までにどこまで目指すのか、全体像がイメージできる数値や道筋があると県民全体の意識共有が図られ、推進に勢いがつくと考える。ぜひ、示してほしい。</p>	<p>国は、2050 年目標の達成に向け 2040 年までに革新的な技術・生産体系を順次開発することとしています。</p> <p>県としては、まずは 2025 年目標の達成に向けた取組を進め、その成果や課題を検証するとともに、国等の技術開発の進捗状況や農業者の意見を踏まえ、2025 年以降の目標を検討していきたいと考えています。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>(1) 有機農業においては、労力がかかり、生産性も高くないことから取組農家が非常に少ない。取組農家を増やすために技術講習会や有機農業に特化した補助を出すなど、何かしらの施策が必要と考える。</p>	<p>県では、有機農業を含む環境保全型農業に取り組む農業者向けのワンストップ相談窓口を各農林総合事務所に設置するとともに、環境保全型農業の推進に向けたセミナーを開催し県内外の優良事例を紹介するほか、環境保全型農業の取組を支援する国の交付金の活用についても、市町と連携して、きめ細かに支援していきたいと考えています。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
	<p>(2) 病害虫に強い品種の育成は非常に重要だと考えており、ぜひとも実践農家の意見も取り入れて、官民一体となって推進していただきたい。</p>	<p>県では、生産者のご意見や消費者のニーズを踏まえ、国や他県の研究機関とも連携し、高品質で栽培のしやすい品種の育成に取り組んでまいります。</p> <p>頂戴した意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>